

【タイトル】～最高の未来を引き寄せる～ 心をつなぐ英語の話し方

【概要】

本書では、世界の人々とより深くつながりたいと願う方々のために、英語を単なる「道具や手段」としてよりも、「言葉は人となりを表す」という観点から、新たな英語学習方法を提案します。従来の語彙や文法の勉強とは全く異なり、自己変容をも可能にする方法で、英語の習得ができるアプローチを紹介。言葉の本質とその重要性、英語の特性、英語と日本語の話し方の違い、言葉の選び方や表現方法など、世界の人々とつながっていくための大切なマインドセットとスキル、実践に生かせる具体的なポイントが学べる1冊です。

【想定する読者ターゲット】

- ① 20～50代の男女
- ② これまでの英語学習法で満足な成果がでなかった人。
- ③ たとえ英語が嫌いでも、英語ができることを夢みている人。
- ④ 単なる英会話ではなくて、相手の心に響くような話し方を身につけたい人。

【構成案】

第1章 世界の人々とつながる自分が変わる

- ・英語で広がる世界とのつながり
- ・英語を通して新たな自分らしさの発見
- ・新たに出会う人たちと、自分らしく英語を話す姿を想像

第2章 英語力向上に必要な最初の確認事項

- ・これまでの英語学習癖や辛い体験は捨てる
- ・減点方式ではなくて、ゼロからの加点方式
- ・ネイティブ信仰や恐れからの脱去

第3章 言葉の意味は音に出て聴覚から感じるもの

- ・英語には日本語と違う音の波動がある
- ・音は聞いて話すだけでなく身体的に取り込む
- ・英語の音の波動が合った時に理解と共感が生まれる

第4章 言葉は「道具やツール」以上「人となりを表す」

- ・単なる道具としての英語ならばAIでいい
- ・心をつなぐのは、「あなた」らしい英語
- ・ネイティブの真似の落とし穴

第5章 つながりを深める英語の話し方

- ・英語を話すときの視線や表情、姿勢や動作も身につけよう
- ・絆を深める英語 VS 絆を壊す英語
- ・意見が対立した時に役立つ英語の話し方

【サンプル原稿】

～最高の未来を引き寄せる～ 心をつなぐ英語の話し方

はじめに

この本を手にとってくれて、ありがとうございます。きっと、英語を学びたい気持ちや、「もっと伝わる英語を話したい」という思いがあるのではないのでしょうか？ 英語を学ぼうとしたけれど、途中で諦めかけたことはありますか？

あるいは、何年も勉強したのに、いざ話そうとすると言葉が出てこない……そんな経験があるかもしれません。

「英語は難しい」「私には向いていない」「間違えたら恥ずかしい」

そんな思いが心のどこかにあるなら、まず伝えたいことがあります。

それは、「英語はあなたにもできる」ということ。

なぜなら、人間にはもともと「言葉を習得する力」が備わっているからです。外国語として学ぶ英語も、アプローチを変えれば、何歳からでも話せるようになるのです。

しかも、日本語と比較すれば、英語は文法もシンプルで、実は学びやすい言語なのです。日本語は、膨大な漢字、敬語、微妙なニュアンスを使いこなす難しい言語。それを使いこなせるあなたはもっと自信を持つべきではないのでしょうか。

では、なぜ多くの日本人は「英語は難しいもの」と思い込んでしまっているのでしょうか？

それは、私たちが受けてきた「英語教育の影響」が大きいのです。学校では、「正解・不正解」が重視され、減点方式の評価が一般的です。

「間違えてはいけない」「減点されないようにしなければならない」

そんなプレッシャーの中で学んでいると、英語を話すこと自体が怖くなり、結果として言葉を発することをためらってしまうのです。

しかし、本来の言葉の目的は、「正しく話すこと」ではありません。

大切なのは、「人とつながること」。

あなたが伝えたい思いを、相手に届けることが何よりも重要なのです。

ちょっと、赤ちゃんのことを思い浮かべてみてください。

あなたがまだ幼かったころ、言葉を話せるようになる前、どうやって人とコミュニケーションを取っていたのでしょうか？

言葉がわからなくても、一生懸命に声を出していたはずです。
言葉にならない音を発しながら、表情や仕草で思いを伝えたでしょう。
そして、まわりの人たちはその声に耳を傾け、笑顔で応えてくれたのではないのでしょうか？

それと同じように、英語は「完璧に話せるようになってから使うもの」ではなく、
発声すること自体がすでに大切な第一歩 なのです。

英語を「声にだしてみる」、でも「うまくできない」。それでいいのです。でも続けるとミラクルが起きてきます。

言葉というのは、「できない」から「できる」ようになるまでの過程そのものが楽しいものです。やればやるほど、「もっと綺麗に話したい」と思い、どんどん成長していく。

英語も、そんなふうに 「成長を楽しむもの」 なのです。

そして、英語が徐々に話せるようになると、あなたの世界は一気に広がります。

たとえば、

- ・仕事でもプライベートでも新しいチャンスが舞い込んだり、
- ・旅先で現地の人と心から笑い合えたり、
- ・海外の文化をもっと深く理解し、新しい価値観に触れられたりします。

しかし、それだけではありません。

英語を学ぶことで、日本語にまで好影響が出ることをご存知でしょうか？

たとえば、

「日本語でも人前に立つのが怖かったので、英語でなんて絶対無理だと思っていました。
ところが、英語で練習を重日本語でも堂々と人前に立てるようになったんです！」
こうした感想を、私は多くの受講生から聞いてきました。

英語を話せるようになると、日本語の話し方までもが磨かれていくのです。

これは 「リバーズ効果（逆効果的成長）」 と言えます。

「私は人前で話すのが苦手な人」

こんなふうに、自分自身にレッテルを貼ってしまうのは、とってももったいないことです。

英語を学ぶことで、あなたは 「今までの自分の限界」 を超えていくことができ、新たな自分の発見ができることでしょう。「自分の出会う世界」だけでなく「自分自身も変える」ができるのです。

そう、英語を学ぶことで、自分の殻を破り、今までできなかったことができるようになる。
それは、まさに 「一石三鳥」 の学びであり、人生のチャンスが広がるのです。

英語の音が持つ力と、心をつなぐ英語の話し方

英語を話すとき、私たちはつい「正しい文法」や「発音の正確さ」ばかりを気にしがちです。でも、それよりも「どんな音を出しているか」に意識を向けてみましょう。

言葉は「音声」で伝わります。

「発音やイントネーション」だけではなくて、英語の音には、その人の感情や誠意、相手への思いやりまでもが含まれるのです。

このことを意識して練習することで、あなたの英語はもっと「伝わる」ようになり、聞き手の心にも「つながる」ようになります。

そして、もう一つ大切なことがあります。

「英語はただの道具、ツールにすぎない」、あるいは「英語を武器にしたい」と言われることもあります。

しかし、「**英語はギフト（才能であり贈り物）**」だと私は考えています。

人間だけが、言葉という「才能」を授かりました。そしてこの「才能」は、自分の思いを言語化して相手に伝えるだけではなく、自分に対しても、相手に対しても渡せる「贈り物」でもあるのです。

言葉を交わすたびに、私たちはお互いにこの言葉という「贈り物」を交換し合っているのです。

大切な人には、大切な「贈り物」を選ぶように、言葉もより良いものになるように自分も磨く。そうすることで、人とのつながりや絆は、一層膨らみ、私たちの世界を広げてくれます。

本書では、英語を単なる「道具」として学ぶのではなく、

「言葉は人となりを表すもの」という視点から、新しい英語の学び方を提案します。

従来の英語学習とは異なり、単なるスキル習得ではなく、

「あなた自身が変わり、出会う人との絆が深まり、人生が変わる」ことにつながります。

あなたの今の英語レベルは関係ありません。この本を通して、新しい世界が広がり、あなた自身の可能性もどんどん開かれていく。

さあ、一緒に「心をつなぐ英語の話し方」を学びながら、最高の未来を引き寄せていきましょう！

[以上となります。よろしくお願ひいたします]